



原子力の安全を追求する相互交流ネットワーク

NSネット(ニュークリアセーフティネットワーク)

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル437号室

TEL: 03-5220-2666 FAX: 03-5220-2665

# NSnet News

No.15  
October  
2002

## 点検データ不正記載問題と 企業倫理プログラムの構築について

NSネットでは、平成11年12月の設立以降、原子力安全文化や倫理などに関する各種セミナーや講演会の実施、会員間の相互評価、原子力安全に関わる情報交換を実施し、重大な事故や不正発生の防止に全力を挙げて取り組んでまいりました。

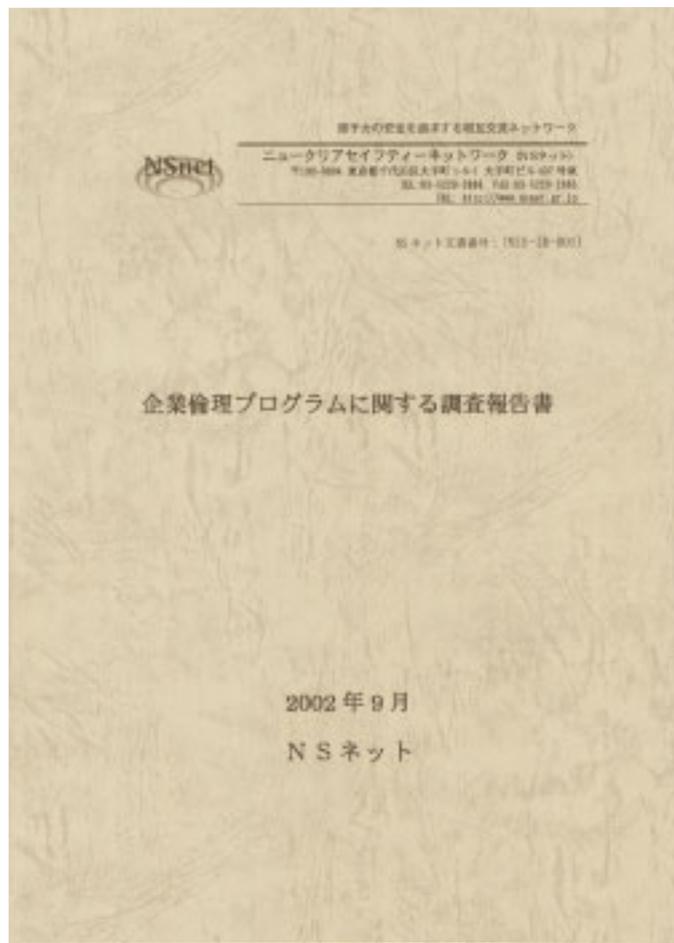
一般の原子力発電所における点検データ不正記載問題に関しては、発表の翌日に理事長声明を発表するとともに、海外提携機関へ情報を発信しました。

NSネットとしても本件を厳粛に受け止め、原子力の安全確保に向けた安全意識の徹底、倫理観の浸透、及び高揚について、より一層強化して活動を進める所存です。

また、NSネットでは、設立当初より倫理の徹底が原子力安全文化醸成における重要な一要素として捉え、各種セミナーにおいて技術者倫理の重要性について提起するとともに、米国産業界における企業倫理プログラムに関する調査を実施してまいりました。

今般、NSネットにおける企業倫理に関するこれまでの調査内容を取りまとめ、報告書を各会員に配布するとともに、会員各位において本報告書を参考にして企業倫理プログラムの構築を図って頂きたい旨、NSネット牧野理事長より提言いたしました。

NSネットの会員用ホームページでは、安全文化醸成に関する文献について、著者、キーワード、カテゴリー(ヒューマンファクター、安全文化、倫理等)から必要な文献が検索できるようになっています。倫理関係についても、約70冊のNSネットの蔵書について、その概要、書籍・雑誌コード等を文献購入の「参考」としてご使用いただけるようとりまとめて公開しております。また、事務所にお越しいただければ、文献を閲覧できますので、ご活用ください。



# 第5回管理者セミナーの開催

平成14年8月22日、23日にわたり、東京都千代田区大手町の朝日東海ビル他において、会員各事業所の管理者クラスを対象とした第5回管理者セミナーを開催し、各組織の管理者約110名が参加しました。

セミナーの1日目には、鉄道産業におけるヒューマンエラーに関する講演及びピアレビューの良好事例紹介などを行い、2日目には(財)鉄道総合技術研究所 国立研究所 の施設見学会を行いました。



▲ セミナーの様子



▲ 見学会の様子



▲(財)鉄道総合技術研究所 四ノ宮氏

(財)鉄道総合技術研究所 人間科学研究部部長 四ノ宮 章 氏から「鉄道安全への人間科学的アプローチ」と題し、鉄道産業における安全性向上に向けた取組みについてご講演いただきました。講演では、「ヒューマンエラー防止対策」、「踏切事故や人身障害事故の防止対策」、「事故時の被害軽減対策」などの具体的な取組みについてお話がありました。

その後、会員を代表して中国電力(株)、住友金属鉱山(株)及び核燃料サイクル開発機構の3社から、それぞれの事業所で実施されたピアレビューで見出された良好事例の中から、「全員参加の『ゼロ災活動』によるヒューマンエラー対策の掘り起こし」「リスクの洗い出しと重要事象の絞込みによるリスク認識の共有化」「HAZOP等による現場感覚を重視した火災・爆発事故の未然防止活動」を紹介の後、会場の参加者との間で活発な意見交換が行われました。



▲ 良好事例紹介(左から中国電力(株)梅田氏、住友金属鉱山(株)鍋島氏、核燃料サイクル開発機構野尻氏)



## NSネットメールニュース配信開始

10月から、より積極的な情報発信の一環として、メールマガジンの配信を開始しました。メールマガジンは毎月発行で、無料でお読みいただけます。NSネットの活動実績や予定などのイベント情報や、多岐にわたる分野の方々の方々のコラムの連載など、親しみやすい紙面作りを目指しています。

読者登録は「NSネットメールニュースのコーナー」ページ(<http://www.nsnnet.gr.jp/mag/index.html>)にて簡単にお手続きできますので、ぜひご登録ください。

# 相互評価（ピアレビュー）の実施状況について

今回は第23回の三菱重工業(株)神戸造船所および第24回の(株)日立製作所日立事業所で行われたピアレビューの状況を紹介します。

ピアレビューの概要および報告書の全文をNSネットのホームページ (<http://www.nsnnet.gr.jp/>) に掲載していますのでご覧ください。

## ● プラント設計・製造事業所に対するピアレビュー開始 ●

平成14年6月19日から21日にかけて行われた第23回のピアレビューは、プラント設計・製造関係の事業所における初めてのピアレビューであり、東京電力(株)、原燃輸送(株)日本原子力研究所の専門家及びNSネット事務局(計4名)が評価チームに参加し、組織・運営、教育・訓練、設計・製造、重要課題対応の分野について、原子力産業界のベストプラクティスに照らして評価を行いました。

評価の結果、神戸造船所においては、「安心感」を得る一助となるべく、所長をはじめ所員が協力会社も含め真剣かつ誠実に諸活動へ取り組んでいることが確認されました。



▲ 報告書の提出  
牧野理事長(写真左)より三菱重工業(株) 西岡社長(写真右)へ

### 〈主な良好事例〉

- 有効な現場パトロールの実施
- 企業倫理に関する積極的な取り組み
- 「技監」、「範師」の資格認定制度の導入とその活用
- 体系的TPM活動による自主保全活動と個別改善活動の展開
- 調達先等協力会社との良好な意志疎通

### 〈主な改善提案〉

- 会社方針の具現化に対する更なる工夫
- 「シミュレータセンター」活用による原子力安全意識の高揚
- 調達先も含めた協力会社社員の個人の意見・要望の募集

## ● 第三者オブザーバー受入れ開始 ●

平成14年7月24日から26日にかけて行われた第24回のピアレビューには、日本原子力発電(株)、日立造船(株)、(財)電力中央研究所の専門家及びNSネット事務局(計4名)が評価チームに参加し、評価を行いました。

評価の結果、日立製作所の創業の精神である、「和」、「開拓者精神」及び「誠」、並びに法と正しい企業倫理に基づく行動等を謳った企業行動基準が定められ、長い歴史を経て、全従業員に受け継がれている状況が確認されました。

### 〈主な良好事例〉

- トップの率先垂範と従業員との双方向コミュニケーションの実践
- バランススコアカードシステムとパフォーマンス指標の活用による効果的な業務管理
- 設計部門の情報伝達・設計管理のIT化
- 公開実演会を通じた安全作業の再確認と定着化

### 〈主な改善提案〉

- ヒヤリハット事例集のデータベース化
- 現場掲示類のより効果的な配置の検討
- 改善活動情報のより一層のグループ間共有化



▲ 報告書の提出  
牧野理事長(写真左)より(株)日立製作所 庄山社長(写真右)へ

また、レビューの質的向上や社会的合意促進に役立てるため、今回初めてNSネットの会員外から、航空産業の専門家にオブザーバー参加いただき、「レビューする側、受ける側双方とも、「原子力の安全を高める」という、共通の目標を持って、かつ同じ立場で努力されていることを感じ、レビューが非常に有意義なものであるということを感じた。」との講評をいただきました。

# 安全キャラバンの実績

今回は第40回から第41回の安全キャラバンの様子について紹介します。安全キャラバンの詳しい内容については、NSネットのホームページをご覧ください。

回	訪問日	訪問事業所	安全講演会講師	講演テーマ
40	8月29日	北陸電力(株) 志賀原子力発電所	三菱重工工業株式会社 技術顧問 小早川真也氏	人工衛星打ち上げ用ロケットの 品質保証について
41	9月2日	日本原子力研究所 東海研究所	関西電力株式会社 原子力事業本部 原燃品質・安全グループマネジャー 大塚 茂樹氏	関西電力原子燃料部門の 社会安全の取り組みについて



▲ 小早川 氏

「何か不具合が発生した場合には、責任の追及を目的とするのではなく、水平展開を行うとともに将来に向けて備えるという観点から、パリエーションツリー法によるヒューマンファクター分析を拡充していきたい。」

\*パリエーションツリー法:ある事象におけるひとつひとつの因子においてその判断の妥当性を検証していく分析方法



▲ 大塚 氏

「企業不祥事を防ぐためには、まずしっかりとしたルールをつくり、そのルールに基づいてきっちりとした運営がなされているかという内部牽制システムをしっかり確立するということが重要である。」

## パネル展示状況(第2回)

今回は、以下の事業所のパネル展示状況を紹介します。より多くの方々にNSネットの活動を知っていただくようパンフレットも配置しています。会員施設のご見学等の際にご覧いただければ幸いです。

次回のNSネットニュースにおいてもパネル展示状況を介绍する予定です。



▲ 関西電力(株)  
高浜発電所ビジターズハウス  
(福井県高浜町)



▲ 住友金属鉱山(株)  
(東京都港区)



▲ 日本原子力研究所  
大洗研究所  
(茨城県大洗町)



**NSネット** (ニュークリアセーフティーネットワーク)  
NSネット(ニュークリアセーフティーネットワーク)は、東海村のウラン加工施設における臨界事故を教訓として、原子力の安全文化の共有化・向上を図るため設立された相互交流ネットワーク組織です。

**NSnet News** No.15 2002年10月発行  
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル437号室  
TEL: 03-5220-2666 FAX: 03-5220-2665  
インターネットでNSネットの詳しい活動内容をご紹介します。  
<http://www.nsnet.gr.jp>

